



令和5年7月25日(火)

いよいよ夏休み

本日、夏休み前集会が行われました。さて、子供達は楽しみにしています。夏休みは計画的に過ごさなければあつという間に過ぎてしまいます。逆に目的があれば、集中して取り組むことができるのが夏休みです。たまたに無計画な夏休みを過ごす子供を見かけますが、それが原因で、夏休みの終わりに泣きながら宿題をしているという子もいるようです。長洲小学校の子供達にはそうならないでほしいものです。保護者の皆様立場になつて考えてみます。「夏休みなんて無くてもいいのに。」という声も聞こえてきそうです。

夏休みに入るにあたり、保護者の皆様にお願ひです。私達教師が長期休業中に心配していることは、児童の事故やケガ、病気です。毎年、夏の時期になると水難事故、交通事故、熱中症等の悲しい事故や事件が報道されます。これらは決して対岸の火事ではありません。長洲小学校の児童にも起こり得ることなのです。自分事として捉え、予防策をご家庭でも話し合つてみてください。

また、コロナが5類移行後、ここ数週間は増加傾向にあります。まだまだ予断を許しません。充実した夏休みを過ごせるように、我々も危機感を持ちつつできることを確実にやっていきます。

私は節約の夏休みになりそうです。いずれにせよ、夏にしかできないこと、考えてみると幾つもあります。時間を無駄にしないように願っています。

5年生集団宿泊教室(裏面に写真)

7月5日6日、5年生が宿泊教室に行つてきました。行先は水俣市、芦北町です。天候が心配される季節だけに、予定を変更することも視野に入れた今回の行事でしたが、2日間予定通りの活動ができ、最高の2日間となりました。特に、2日目は梅雨真つ只中にも拘らずその日だけ晴天となり、マリソ活動も予定通り実施することができました。あしきた青少年の職員の皆さんも「多分、この日しかチャンスはありませんでしたよ。運が良いですね。」と仰っていました。「何と運の良い5年生だ!」と感心したところです。

水俣市で環境や人権に関する学習を、時間をかけてしっかりと行いました。子供達は学習したことを自分のものとしながら、改めて「正しく知ること」の大切さや、「誠実に生きること」の尊さを感じて、これまでの経験と重ねて考えていたようでした。

2日目は先ほどお話ししました通り、マリソ活動でした。ペーロン船を自分達の力だけで動かす、気持ち一つにすることの大切さや、目標に向かって努力することの大切さを学んだようでした。

2日間を通して子供達は多くのことを学んでいます。主体性、協働性、友情、マナー、規律、集団生活…。挙げればきりがありませんが、青少年の家での学びは今後の精神的な成長に伴つて必ず役に立つものばかりです。小学校での生活の中で学びを活かしながら、自分磨きをして欲しいと願っています。

(裏面に写真)

金魚すくい体験(3・4年生)

12日(水)、3・4年生が金魚すくい体験をしました。毎年、長洲町養魚組合のご協力を得て実施されています。養魚組合の方からは、金魚の養殖やその歴史についてお話し頂き、子供達も興味津々でお話を聞くことができました。

そして、金魚すくい体験! ポイをもらつていざ開始! 子供達の嬉々とした表情に、周りの大人も自然と笑顔になつていました。中には、次々とすくつていく子供達もいました。

体験後には金魚やメダカのプレゼントもあり、子供達は大喜びでした。どうしたらうまく育てられるか、新しい学びができそうです。

(裏面に写真)

JMU進水式見学(3年生)

12日(水)、3年生がJMU(ジャパン・マリン・ユナイテッド)の進水式を見学しました。巨大な船に目を丸くしていたそうです。汽笛を鳴らし船が動き始めると、子供達は旗を振つて見送りました。長洲町ならではの体験ですね。昨年度も同じように進水式の見学があったのですが、筆者には中々縁がありません。3年生の体験をうらやましく思いました。

(裏面に写真)



水俣での学び



あしきた青少年の家



金魚すくい体験



JMU 進水式